



# 人口50万人突破!

## 笑顔と魅力あふれる 世界に誇れるまちへ

▲あらゆる世代の区民が笑顔で喜ぶ江東区に



▲山崎区長(右端)とご家族の皆さんで

50万人に達したお祝いとして、6/12に区役所へ出生届を出した方に、認定証や区の観光キャラクターコトミちゃんのぬいぐるみなどの記念品を贈りました。このうち、東雲在住の田中さんのお宅には区長が訪問し直接手渡しました。区長は「こどもは江東区の未来。健やかな成長とご家族の幸せを心からお祈りします」と話しました。

江東区がまだ「深川区」と「城東区」だった昭和15年当時に41万9千人を数えた人口も、戦災などにより一時はわずか2万5千人ほどになってしまいました。しかし、戦後の復興とともに人口は上向きとなり、「江東区」としてスタートをした昭和22年には約4万1千人、昭和62年には39万3千人まで増加しました。以降、数年にわたって若干の減少が見られたものの、平成10年からは再び増加に転じ、平成14年に40万人に到達。その後も南部地域をはじめとした大規模マンションの開発などに伴い、他に類を見ない速さで伸び続け、6月12日、ついに50万人に達しました。

豊洲新市場の開場や5年後の東京オリンピック・パラリンピックを控え、江東区は今後もさらに発展を続けます。

区では、豊洲シビックセンターの整備や保育所、小中学校の新設など、人口増加に対応するための施策も積極的に推進し、50万区民が安心して快適に暮らせるようにしていきます。

江東区の人口が去る6月12日、50万人に達しました。人口50万人への到達は、23区では8番目になります。

### 50万区民が世界に誇れるまちに

